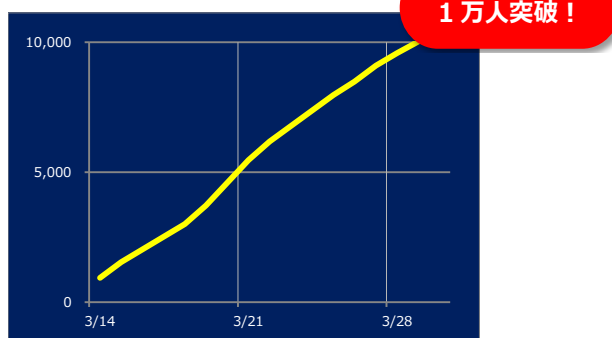


ポイント運用プラットフォーム「運用口座」 約2週間で、利用者 1 万人突破！

30～40代の投資未経験層が積極的に投資を体験。

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区 代表取締役社長：林野 宏、以下：当社）が提供する永久不滅ポイントによる運用プラットフォーム「運用口座」が、2018年3月14日（水）のサービス開始から約2週間で利用者数 1 万人を突破いたしましたことをご報告いたします。



■2週間で、1万人のお客様が「運用口座」を利用

ポイント投資の草分け「ポイント運用サービス」を上回るハイペース

「運用口座」は、永久不滅ポイントを使って気軽に長期運用を体験ができる「ポイント運用サービス」をさらに発展させた運用プラットフォームです。毎月一定数のポイントを自動的に積み立てる「つみたて機能」を搭載し、東証株価指数「TOPIX」に連動する「日本株（TOPIX）コース」と、米国市場の主要500銘柄の株式指数に連動する「アメリカ株（VOO）コース」により、これまで以上に日米の景気変動を感じながら投資体験をお楽しみいただけます。ポイントを使ってお試しで、よりリアルに体験できるサービスとして、大変多くのお客様に支持を得ております。開始約2週間で1万人のお客様にご利用いただいております。ポイント投資の草分けとなった「ポイント運用サービス」を上回るペースで推移しています。

■ご利用者の約4割が女性。30～40代の投資未経験層が本格投資体験

投資への興味は男性が強いイメージがありますが、「投資口座」は、投資に関心はあるものの知識や経験が不足し、実際に投資をするには不安がある女性に対して興味・関心を喚起しているものと推察されます。年代別では30～40代で約6割を占めており、本格的な投資を行うステージに一步踏み出す前に、実際の投資により近い体験ができるサービスとしてお客様に貢献しているものと考えています。

■「日本株（TOPIX）コース」と「アメリカ株（VOO）コース」との運用割合は 4:6

現在まで、運用ポイント数に対する運用割合は「日本株（TOPIX）コース」が約4割、「アメリカ株（VOO）コース」が約6割です。これはアメリカ株全体の動きを気軽に体験できる、というこれまでにないサービスが、もたらした結果と考えられます。

なお、今春以降には、実在する企業の株価に連動し、運用ポイントが当該株式銘柄の 1 株価格相当のポイント数になると実際の株式に交換できる「株式コース」を追加予定です。今後も、カード会員さまを含む多くの皆さまに資産運用を身近に感じていただき、金融市場の発展に寄与するとともに、永久不滅ポイントの独自性を磨き続けることで新たな価値の創造に挑戦してまいります。

【ご参考】

ポイント運用プラットフォーム「運用口座」 利用者データ



- サービス利用者数 10,025人
- 利用者における男女比 男性 59.7%、女性 40.3%
- 総買付ポイント数 2,923,387ポイント
- 買付ポイント数における運用コースの割合
日本株 (TOPIX) コース43.6%、アメリカ株 (VOO) コース56.4%

※2018年3月30日現在

過去のリリースはこちらをご覧ください。

▼ 運用プラットフォーム「運用口座」を構築。新たなポイント運用サービスの提供を開始

http://corporate.saisoncard.co.jp/wr.html/news_data/avmqks000000ajqr-att/20180313_Release.pdf

実際の企業の株価に連動。永久不滅ポイントを貯めて株主に。

「株式コース」を追加予定。

実在する企業の株価に連動して永久不滅ポイントが増減し、当該株式銘柄の1株価格相当のポイント数になると実際の株式に交換できる「株式コース」を、今春以降に追加予定です。これにより、永久不滅ポイントでの運用体験で得た知識・経験を活用し、気軽に株主になっていただけるようになります。

「運用口座」が実際の投資活動に踏み出すきっかけとなり、“投資を学びたい”と考える方にとって投資活動の入り口として選んでいただけることを目指してまいります。